

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長 新年挨拶

フェリーチャンノヴヤーロン
皆様あけましておめでとう
ございます。

甲辰、令和六年の元旦祭を
寿ぐ名古屋分苑に来られた皆
様と共にお仕えさせていただ
き誠にありがとうございます。

昨年はコロナ禍も第五類に
格下げされ、お陰様で教本講
習会、祭式・葬祭研修会も東
海教区の方達をお誘いして、
すべて執行させていただきました。

本部では、念願の農業セン
ター跡地が無事大本の神苑と
なり更地から長生殿本宮山を
見渡すと広大な広さに圧倒さ
れます。今年の節分大祭参拝
される時、是非ご覧ください。
名古屋分苑誠心会の綾部献
芳は四月とほぼ同じ内容で、
長生殿からみろく殿の枯れ木

取集と金竜海周辺清掃と大八
洲神社・杵島・冠島神社・大
本塩釜神社のお社拭きのお掃
除をさせていただきました。

特に大八洲神社は、大道場
受講者が最終日に金龍丸に乗
り良い印象で終了参拝される
ように丁寧に雑草刈をいたし
ました。

教主さまのご挨拶で今年は
令和五七の年も二年目をむ
かえました。長生殿前の土地
が正式な手続きの後、綾の郷
の御神業が進展していく様子
をととても楽しみにしています。

農地でも戦後は、増収を図
るため化学肥料に頼り地力は
衰え土壌の生態系が変わり病
虫害が多発し農薬の散布で悪
循環に陥ってしまいました。

近頃は、自然の法則にした
がった農業を広め、安心、安
全な作物を生み出している人
も増えつつづけています。
発酵堆肥を完全に発酵させ

るためには、時間をかけて、
粘り強く、忍耐強く、心をこ
めて何度も何度も切り替えし
切り替えししていかないと良
い堆肥が出来ないように、ど
の仕事においても、あるいは
大本のご神業においても、こ
の堆肥づくりや本物づくりと
同じことが言えるのではない
かと思います。

言霊の幸はう国、言霊の天
照る国、言霊の生ける国、言
霊の助くる国、今同じこの時
代に生まれさせていただいた
幸せと、責任を感じつつ、一
人ひとりが善き想い、善き言
葉、善き行いで積極的に世の
中に善き型を出し、ともに平
和な世界、より良き未来を築
くために行動してまいりたい
と存じます、と教主様の新年
のご挨拶から述べさせて頂き
ました。

新年の計は元旦にありの諺
もあり、皆様の意見に傾聴し
て実行してまいります。
この年も皆様にとって良い
年になりますように。
令和六年 元旦

本日のご参拝ありがとうございます
ございました。コーランダンコ
ン

行事報告

● 月始祭

十二月二日（土）

参拝者 二十五名
齋主 石原 松生
祭員 天野 芳幸
裏方 畠山 茂
進行 妹尾 正治



● 月次祭

十二月十七日（日）

参拝者 四十六名
齋主 瓜生 秀明
祭員 堀 健太郎
祭員 影近 博己
祭員 日比 達朗



裏方 畠山 茂
典礼長 鈴木 克彦
伶人 飯田 直美
伶人 長谷川美枝
伶人 伊藤恵美子
進行 伊藤久仁男
月次祭後、機関長会議が開催
され、令和六年度の教団方針・
愛善会活動方針・分苑予算つい
て高嶋分苑長より説明があつ
た。

お知らせ

人型受付のため、次の日程
は日直を毎日行います。

一月二十四日（水）
二月三日（土）

行事予定

一月六日(土)

入学祈願 午後二時より

一月二十一日(日)

月次祭 午前十時半より

二月三日(土)

月始祭・節分大祭 遥拝祭

午後一時半より

忍び草

若葉支部 浦木みよ子 毘女

享年 九十五歳

令和五年十二月二十四日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

南の島の素敵な出会い

本部でのちょっとした出会いが大きな出会いとなり私達3人は喜界島、奄美大島へ行く事になりました。

旅のきっかけは森悦子さんの本部奉仕活動の仲間、喜界島在住の岩井洋子さんとのつながりで実現しました。

喜界島は奄美大島の東にあるさとうきびの島です。

1日目、喜界島空港で岩井さんの出迎えを受け宮原山(み

昨年12月2日に開催された総代会にて下記のように予算が承認されました。

令和6年度 収支予算書

自 令和6年01月01日

至 令和6年12月31日

令和5年12月2日

収入の部				
科目	令和5年度予算	令和5年度見込	令和6年度予算	増減
玉串料	2,520,000	2,534,380	2,520,000	0
本部交付金	800,000	766,503	760,000	▲ 40,000
分苑維持献金	1,400,000	1,394,140	1,380,000	▲ 20,000
雑収入	10,000	19,140	10,000	0
合計	4,730,000	4,714,163	4,670,000	▲ 60,000

支出の部				
科目	令和5年度予算	令和5年度見込	令和6年度予算	増減
祭務費	1,030,000	676,415	1,030,000	0
玉串費	300,000	375,000	350,000	50,000
教化費	880,000	282,121	770,000	▲ 110,000
総務費	1,430,000	1,205,859	1,430,000	0
維持費	760,000	792,679	760,000	0
厚生費	330,000	120,050	330,000	0
小計	4,730,000	3,452,124	4,670,000	▲ 60,000
当期余剰金	0	1,262,039	0	
合計	4,730,000	4,714,163	4,670,000	▲ 60,000



宮原山 遥拝所

やばるやま) 遥拝所へ行きました。翌日の祭典の準備をされていく信者さん達も温かく迎えてくださり私達も一緒に少しだけ準備を手伝わせてもらいました。

宮原山は遥拝所のすぐ隣であり昭和3年、聖師様が台湾からの帰りにおみえになったところで皆さんが参拝できるお山になりました。

昭和7年には尊師様がおみえになりました。

毎月15日その祭典に参拝させていただき祭典中、感激して胸が熱くなりました。その宮原山には聖師様お歌『世をおもふ心の船に棹さして宮原山にはるばる吾来つ』の歌碑が建立されています。



宮原山 聖師さま歌碑

この喜界島は昔ほとんどが大抵本信者だったそうです。

大本事件の時には地元元信者さん達が歌碑を守り難をのがれることができたという話を伺いました。信者様の強い思いと信仰心で今も大事に祭られています。

皆様心温かい人達ばかりで島中が友人であり親戚のようでした。

祭典準備とか食事会の時、直会の時にもしろい事をポンポンと連発し話された時に意味不明のお国言葉が飛び交い、だからこそ和やかで心の底から笑えるほんとうに楽しいひとときでした。島の観光にも案内して頂き80%の降水確率の予報も跳ねのけ傘の出番はなく誰が晴れ女かしら? 「私!! わたし!」と思うくらい天気にも恵まれました。

2日目の参拝、観光のあと、



奄美 分苑

午後には奄美大島へ渡り私達が行く事を岩井さんの気配りで連絡してもらっていたようので空港まで奄美分苑長の濱田慶三様がわざわざ迎えに来られ奄美分苑にもお参りさせていただきました。その翌日の3日目なんと分苑長に1日奄美の北半分を観光案内してもらい至れり尽くせりの3泊4日でした。

人と人とのご縁、繋がりに感謝し生涯忘れられないすばらしい旅となりました。

喜界島の岩井洋子様はじめ皆様、奄美分苑長の濱田慶三様、大変お世話になりました。ほんとうにありがとうございます。ほんとうにありがとうございました。

加藤登茂栄 森悦子